



本発表の問い合わせ先
産業生活部 生活環境課 環境保
全担当
担当者：宮前、合田
電話：0877-24-8809

市内でセアカゴケグモによる咬傷事案の発生

9月29日（日）、丸亀市柞原町の自宅で成人女性が特定外来生物のクモ「セアカゴケグモ」に咬まれました。その後女性は病院を受診しましたが、健康状態に異常はないとのこと。セアカゴケグモに咬まれる被害は県内で2例目となります。

セアカゴケグモは熱帯地域などに分布するクモで、攻撃性はありませんが毒を持っています。日本では生息しないとされていましたが、1995年に大阪府の臨海部で初めて発見されて以降、日本各地で発見されており、丸亀市でも、市内各地で発見されています。

発見した場合は、絶対素手で触らず、直ちに殺虫剤などで殺処分するとともに、卵のうを見つけた場合は、ビニール袋などに入れて完全に踏みつぶしてください。

■ 概要 9月29日（日）自宅で、素手で花壇の手入れをしていたところ、手の甲にクモが落ちてきて、その後痛みを感じ、赤くなってきたため、クモを持参して、同日市内の病院を受診。

10月1日（火）（病院休診明け）に市が病院に持参したクモをセアカゴケグモであることを確認

■ 今後の対応 市ホームページ等にて市民全体に注意喚起と発見した場合の対処法等の周知を行う。

■ セアカゴケグモについて

1 体の特徴

生体のメスは約7～10mmで、全体的に黒色又は濃い褐色です。特に腹部の背の部分に赤色の帯状の模様があるのが特徴です。生体のオスは約3.5～6mmで、腹部の背の部分に白い斑紋があります。

2 生息場所

日当たりがよくて暖かいところや昆虫などの餌が豊富なところに生息しています。

- ・花壇周りのブロックのくぼみや穴。植木鉢の下、ビニールハウスなどの温室
- ・排水溝の側溝やふた（グレーチング）の裏側
- ・クーラーなどの室外機や自動販売機との壁のすきま

・墓地の花立てや線香立てなどの石のすきま などです。

3 駆除方法

見つけたら、市販の殺虫剤をふりかけるか、靴で踏みつぶして駆除してください。卵（卵のう：卵の入っているふくろ）は棒きれなどでクモの巣ごとからめ取り、ビニール袋に入れて踏みつぶしてください。（卵には殺虫剤の効果が薄いようです。）

4 咬まれたときの対応

咬まれたときは針で刺されたような痛みを感じ、その後、咬まれたまわりが腫れて、赤くなります。（痛みは次第に全身に広がることもあります。）直ちに傷口を水道水で洗うなど、患部を洗浄しましょう。（包帯や止血帯はしない方がよい。）

悪化すると全身症状（吐き気、寒気など）が現れることもありますので、患部を冷やしながら、直ちに病院に行きましょう。（乳幼児の場合は救急車を呼びましょう。）

※できれば病院に行く際には、咬まれたクモを殺して、ビニール袋等に入れて持って行ってください。より適切な治療につながります。

5 対策

- ・外で作業するときは、手袋をしましょう。
- ・不用意に側溝等の隙間に手を入れないようにしましょう。
- ・クモの生息しそうな場所や、以前発見された場所は、こまめに殺虫剤を振りかけたり、掃除・整理整頓をしたりして、クモの住みにくい環境づくりをしましょう。